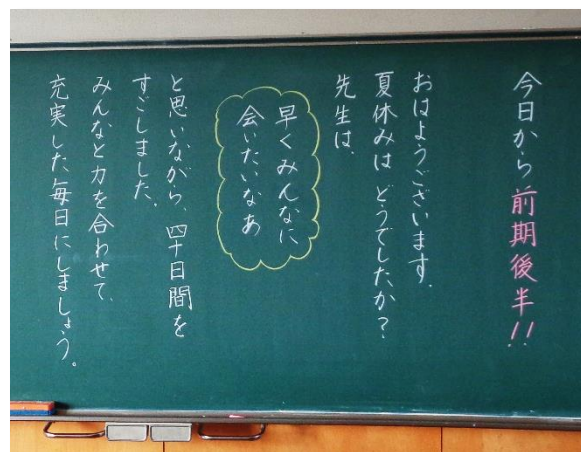


◆◆◆書いて伝える◆◆◆

■昨日発行した学校だよりに「朝夕の風がずいぶん涼やかに…」と書いたのですが日中はまだまだ暑い。台風の影響もあり、今週は蒸し暑い日が続きそう。感染症対策に加えて熱中症対策、もうしばらく続ける必要があります。

■右の写真は久しぶりの子どもたちを迎える昨日朝の黒板。
子どもたちに向けた担任からのメッセージ。
一昨日までに、子どもたちを迎える準備をすすめながら先生方によって書かれたもの。教室に入ってくる子どものようすや心を精一杯の想像を働かせながら。
そして朝一番。
子どもたちはどんな表情で、どんな思いで黒板のメッセージを目にし、受け取ったことでしょう。
そんなことを想像していると、なんだか微笑ましくなります。心が温かくなります。



■面と向かって直接伝えること。黒板や手紙に書いて伝えること。
伝えるなかみは同じでも、音声と文字とでは伝わり方、伝わり具合が違ってくこともあります。書いて伝えることのよさ。
いろいろあるでしょうが、受け手にとっては何度も「読み返す」ことができること。
なので、メッセージのなかみをより正しく受け取ることができます。
そこにはなくても、その人と確かにつながっている。そんな感覚を持つこともできます。
もちろん、直接話して伝えることのよさもたくさんあります。
それぞれの持ち味をふまえ、子どもたちに思いや願いを伝え、しっかりつながることを心に留めて今日も担任の先生方は教室に向かいます。

